

令和 6 年度

「自治会活動に関する現状調査」及び市民アンケートの集計結果について【概要版】

勝山市は、令和 4 年度に策定した第 6 次勝山市総合計画において、単独の集落では対応できないところを複数の集落の共助により支え合える新しい仕組みづくりの構築を政策目標の 1 つとしています。

令和 6 年度はその足がかりとして、各集落における自治会活動の現状を把握し、施策の基礎データを収集するための次の 2 種類のアンケートを実施しました。

1 つ目は、地方創生総合戦略等の効果検証を目的として実施する勝山市民アンケートの中に、自治会活動に関する質問を設けて、令和 6 年 9 月に行いました。対象者は、令和 6 年 8 月 1 日現在で市内在住の満 16 歳以上 3,000 人（無作為抽出）で、回収率は 43.9%でした。こちらは主に、自治会活動に対する市民の意識調査を目的として実施しました。

2 つ目は、同年 11 月に各集落（行政区）の区長 112 人を対象に、「自治会活動に関する現状調査」と題してアンケートを実施しました。回収率は 90.2%でした。こちらは主に、自治会の組織体制や資産状況、自治会の抱えている課題等の現状把握を目的として実施しました。

今後は、これらのアンケートの結果を踏まえて、持続可能な集落を作るための施策として掲げている行政協力員制度と行政区の見直しについて、検討を進めてまいります。

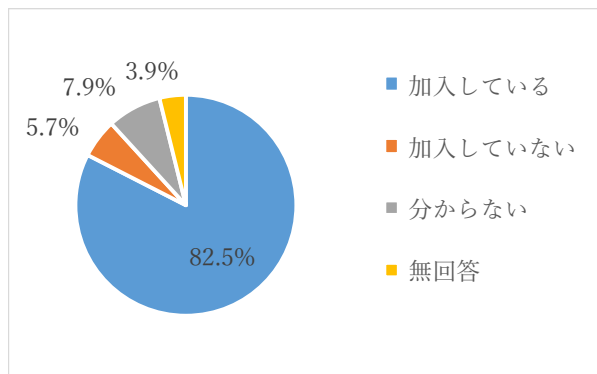
また、こちらに掲載しておりますのは、各アンケートの集計結果の一部となります。詳細については、勝山市公式ホームページ（下記 QR コードから）で公表しています。各地域における自治会活動の中で、ご活用いただければ幸いです。

結びになりますが、アンケートにご協力くださりまして、誠にありがとうございました。

① 約 8 割の世帯が自治会に 加入していると回答

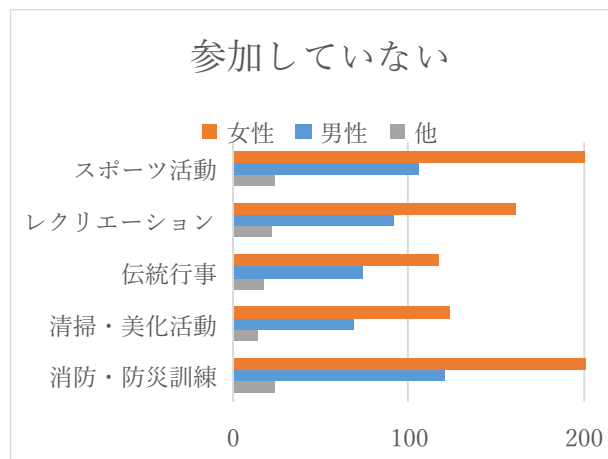
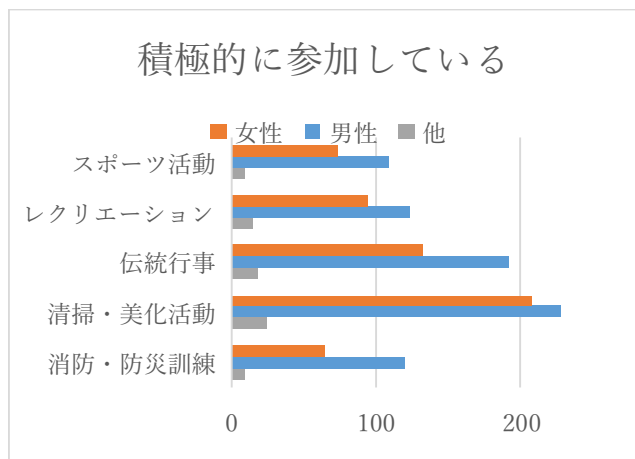
総務省が発表した全国 600 自治体の自治会加入率の平均は 71.7%（R2）なので、勝山市は比較的高い加入率です。

また、加入していないと回答した人の約 4 割は、70 代・80 代の人でした。



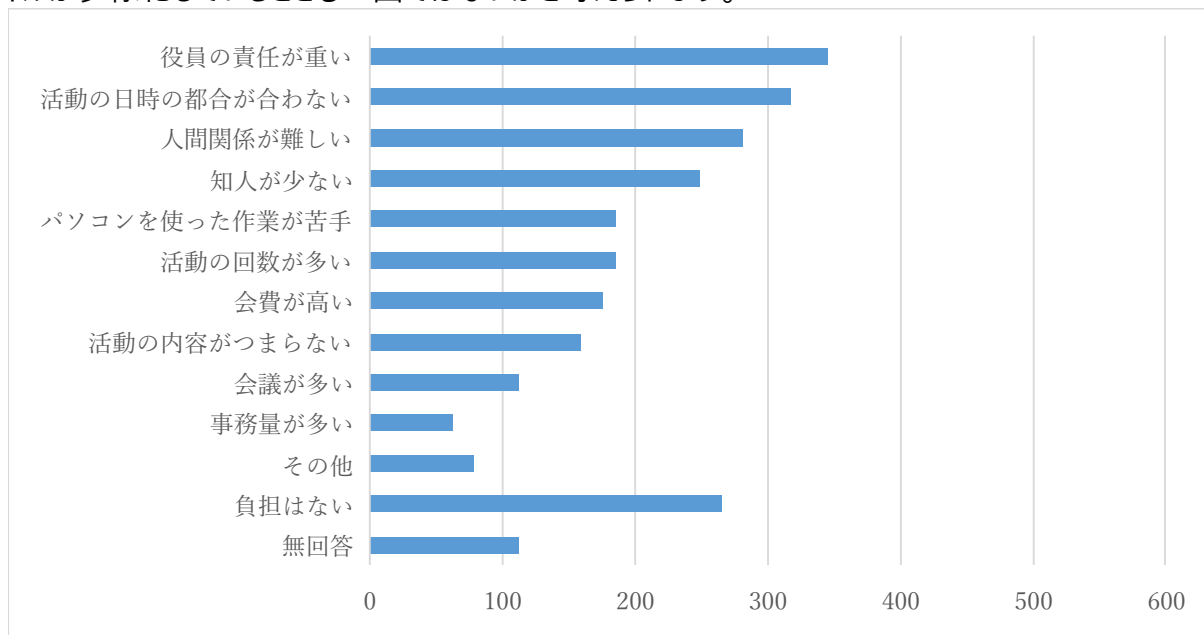
② 男性の活動参加が多い

積極的に参加している女性もいますが、全体的に男性の参加が多い傾向にあります。特に運動会などのスポーツ活動、消防・防災訓練は男女の参加に大きな差があり、女性が少ない状況です。



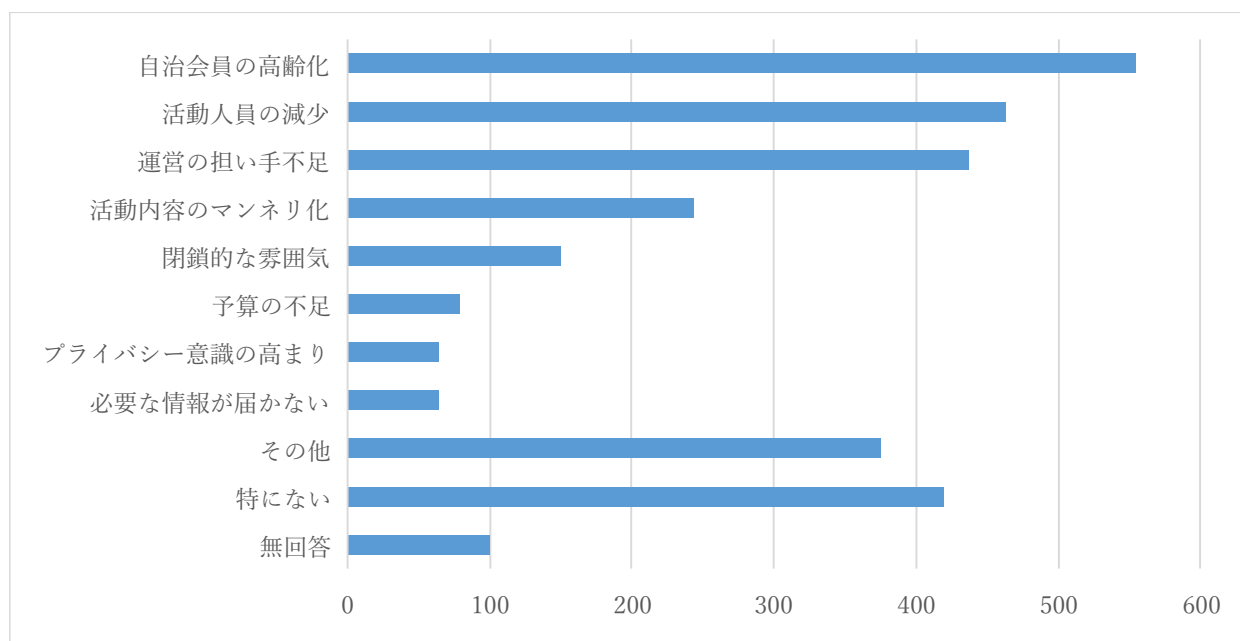
③ 自治会役員の責任が重い

役員の責任が重いと感じる人が最も多く、その約 6 割は 60 代・70 代の人でした。次点で、活動の日時の都合が合わないという人が年代を問わず多くあり、仕事や余暇の過ごし方など、個人のライフスタイルが多様化していることも一因ではないかと考えられます。



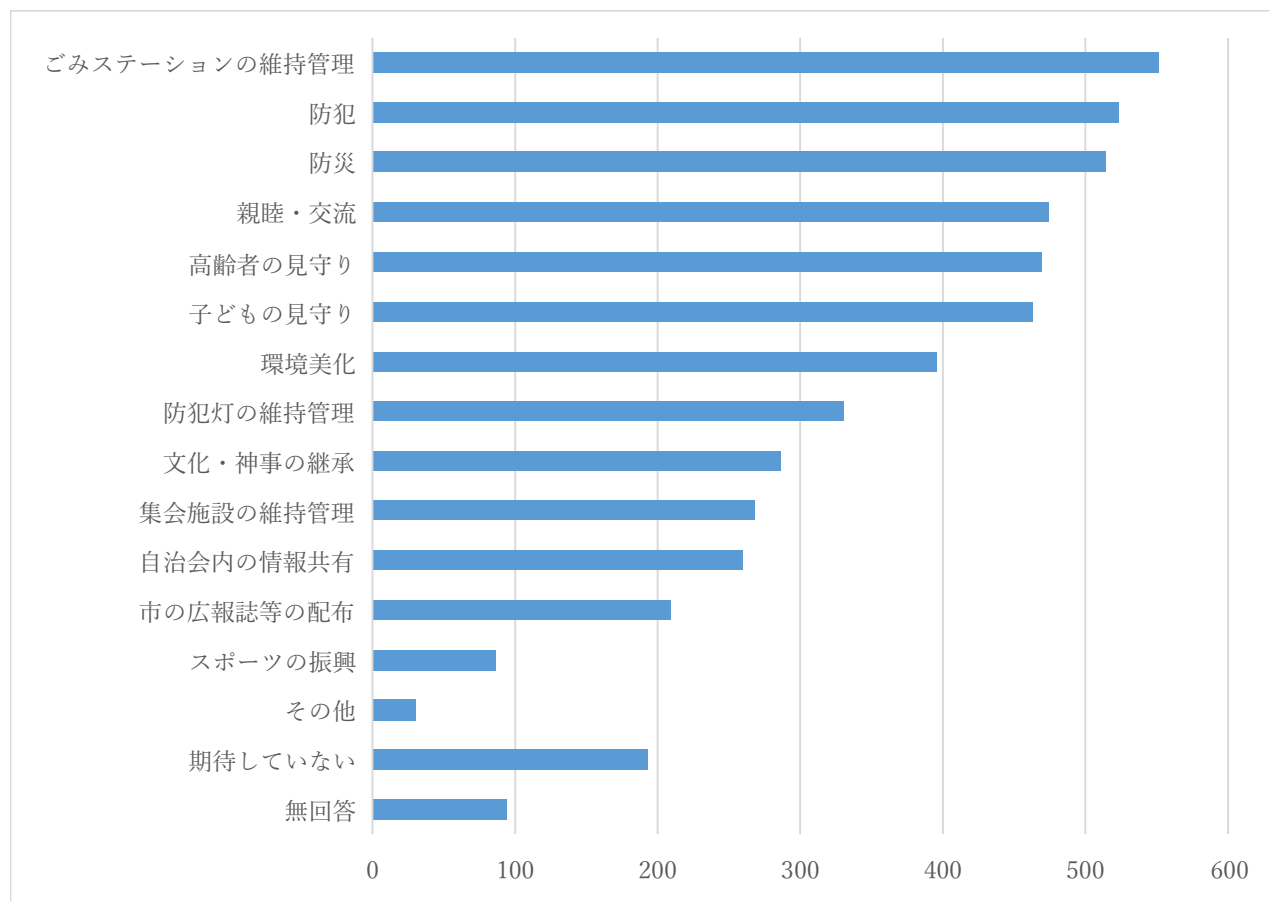
④ 区民の高齢化と人員の減少に困っている

勝山市全体の高齢化率は 39.3%（R5）です。高齢化と活動人員の減少が、自治会運営の担い手不足につながっているものと考えられ、自治会活動に影響が生じていることが伺えます。



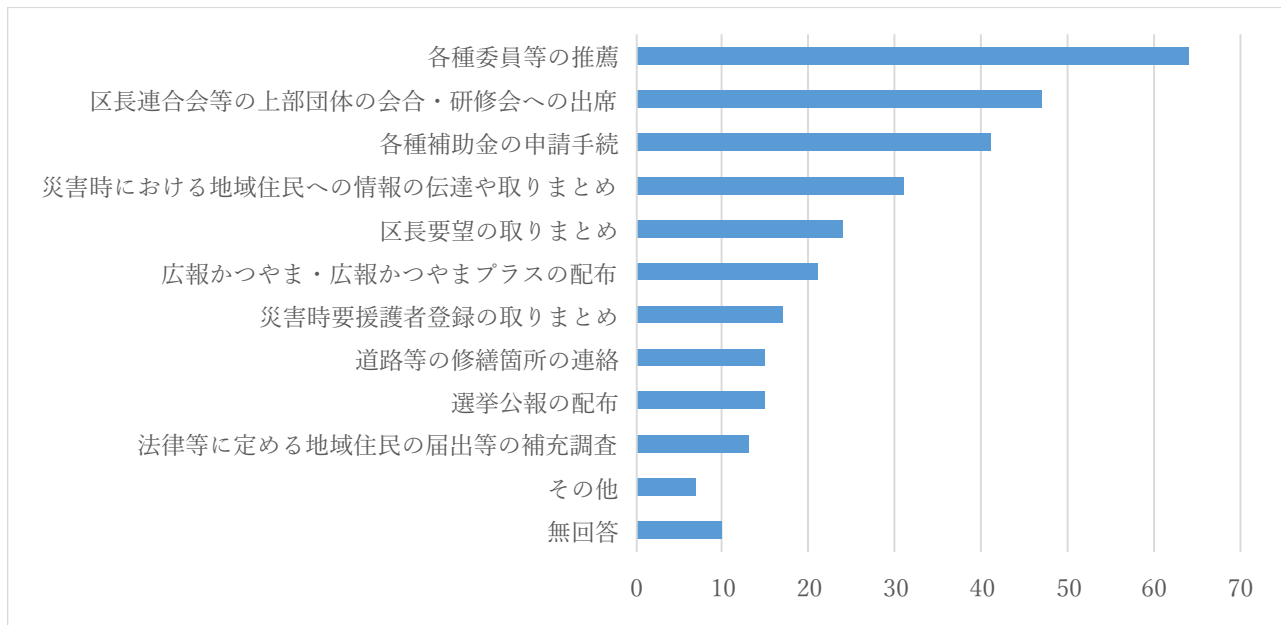
⑤ 自治会に最も期待することは、ごみステーションの維持管理

自治会の役割として最も期待することは、ごみステーションの維持管理でしたが、次点の防犯、防災のほか、親睦・交流を期待する人も同程度ありました。



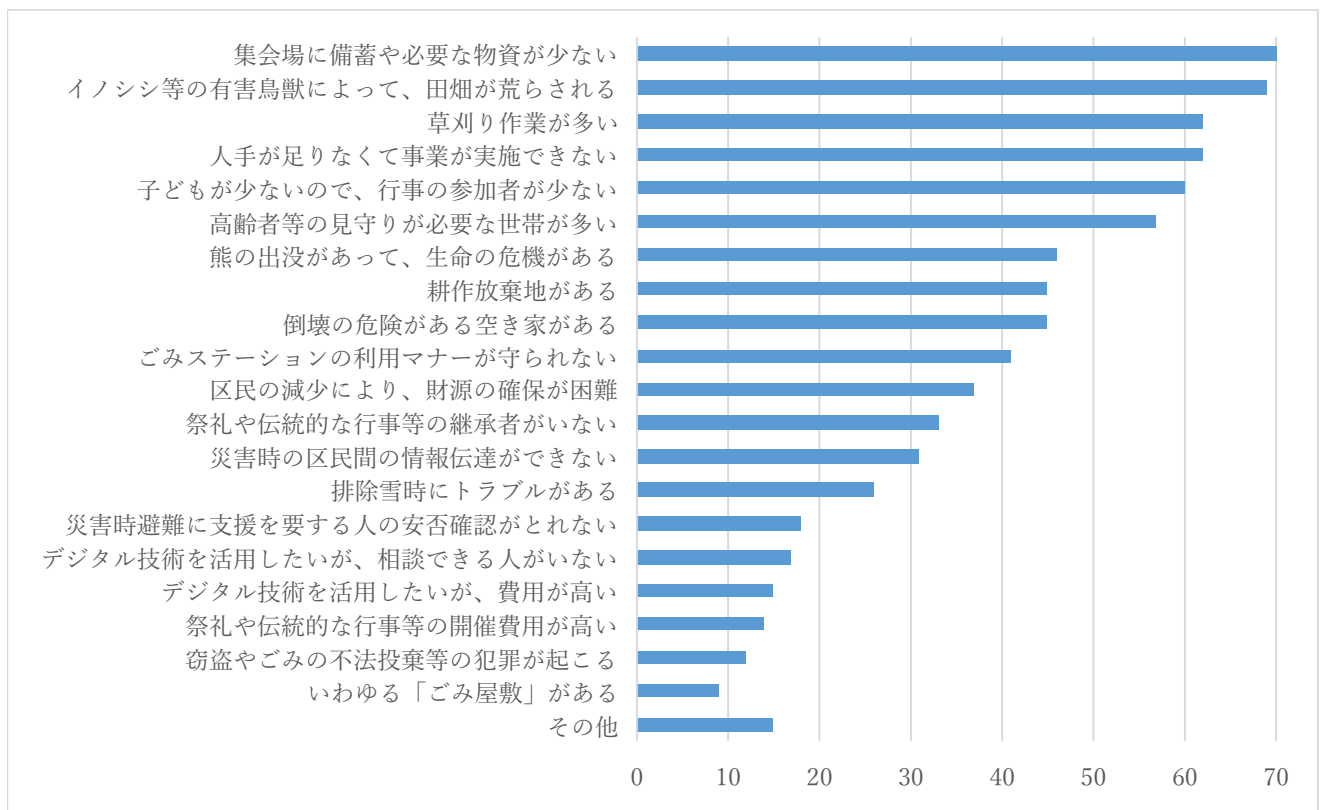
① 区長の負担が大きい業務は、各種委員等の推薦

委員の推薦を地区に依頼することは、広く市民の意見を市政に反映したり、地域に根ざした活動を行う上で大切なことですが、区民の減少・高齢化等で、引き受けてくださる方が少なくなっています。



② 自治会の課題は、防災備蓄の不足

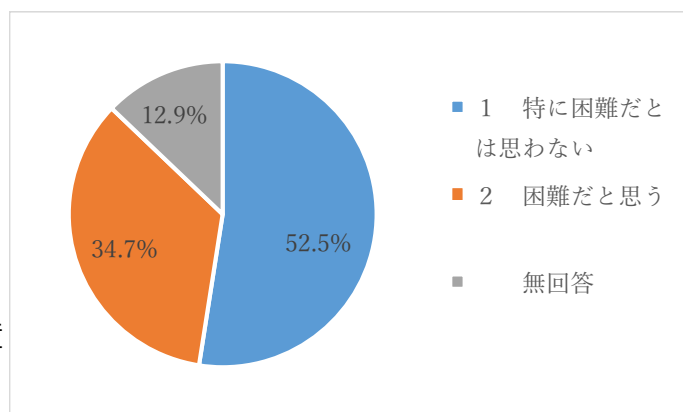
自治会の課題・困りごとで最も多かったのは防災備蓄の不足で、有害鳥獣による被害、草刈りが上がっています。また、人手が足りなくて事業が実施できないという意見も多くありました。



③ 他の自治会との協力体制

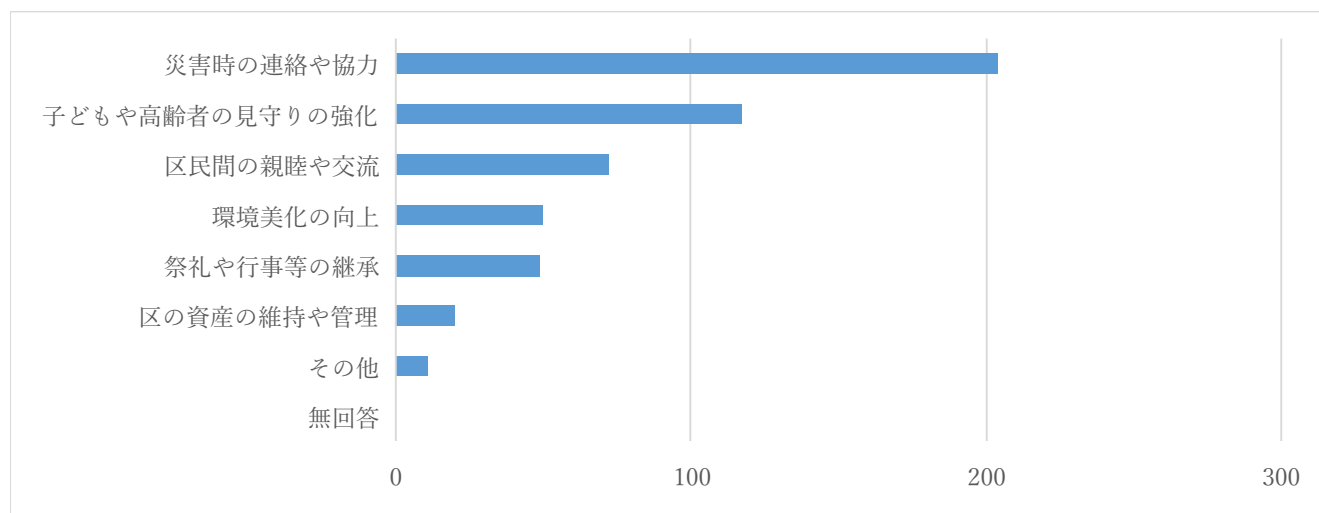
協力体制づくりが特に困難ではないと回答した区長が、世帯数の規模に関係なく、半数を超える結果となりました。

一方で困難だと思う理由としては、「村意識が強い」、「自分の区のことでは手一杯」、「物理的に距離が離れているので実効性が低い」、「区の資産の取扱いが難しい」などの意見がありました。



④ 協力体制に期待するのは、災害時の連絡・協力

他の自治会との協力体制をつくった場合に最も期待する役割は、災害時の連絡や協力でした。次点で、子どもや高齢者の見守りの強化と回答した人が多くありました。



⑤ 情報共有の手段は、紙が最多

自治会の情報共有手段は、紙（回覧・配布）が最も多い結果となりました。一部の自治会では、紙に加えて、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）や電子メールを併用しているようです。

